

めざせー等級比率 95%！
良食味・高品質で安定収量を！

第2号
令和6年4月
JA魚沼
北魚沼基幹営農センター

米づくりV作戦



令和6年に川口地区の一等級比率 95%を達成するため、育苗から本田初管理等についてお知らせします。

<育苗から本田初期管理の要点>

- 健苗育成→良質茎を早期に確保
- 畦畔の整備、ていねいな耕起・代かき→栽培の安定と水資源の有効利用（水不足対策）
- 田植え後は、早朝入水、日中止め水が基本→低温時の分けつの発生遅れ軽減

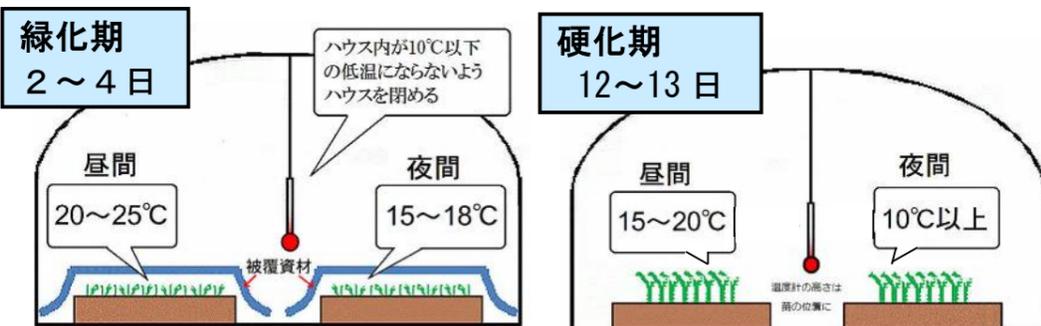
1 健苗育成

(1) 育苗期間中の高温が予想されます。焼け苗に注意。特に、5月上旬は種の育苗は、特に注意！

は種時期が遅くなるほど日射量が多くなるため、高温時の焼け苗発生の危険性が高まります。遅い時期の育苗ほど、緑化時は遮光率の高い被覆資材の使用や遮光率を高めるための二重被覆等を行い、焼け苗を防ぎましょう。

	被覆資材	特 徴
遮光率の高い被覆資材の例	アルミ蒸着フィルム	高温になりやすい4月下以降のは種の育苗ハウスでは、シルバー（表白）、発泡シートに比べてより高温が抑制できる。

(2) 緑化期、硬化期の温度管理のめやすと注意点等



- ・硬化期（育苗後期）は早めの換気を心がけ、移植一週間前からは外気にならしましょう。
- ・天気予報をこまめにチェックし夜間温度は 10°Cより低くならないように管理しましょう。

(3) 育苗段階での生育（めやす）、留意点等

育苗段階	終了段階での苗の生育	留意点等
緑化期	・第1葉鞘長 3.5cm ・葉齢 1～1.5葉	・ヤケ苗発生に気を付けましょう。遅い時期の育苗ほど、遮光率の高い被覆資材の使用や遮光率を高めるための二重被覆等を行う。
硬化期	苗丈 12cm、	・田植え1週間前ごろから徐々に外気に慣らす。

(4) 移植前追肥（弁当肥）で、田植後の活着を促進し、初期生育の確保を！

- ・老化苗に対しても移植前追肥を行うことで、早期に茎数を確保できます。
- ・軟弱苗・徒長苗の場合は、苗質の悪化を招くため、施用を避けましょう。

施用例	使用時期	肥料例	1箱当たり使用量	窒素成分量	注意点
	移植前4～5日 (1.8葉期)	液肥の場合 (N成分10%)	100倍に希釈して1箱当たり 1リットル散布	1～2g/箱	追肥施用後は、肥料焼け防止のため、必ず十分にかん水する。

(5) 老化苗に注意（老化苗は低温で分けつ少ない）

田植え時の理想的な苗は、苗丈12cm、葉齢2.2葉

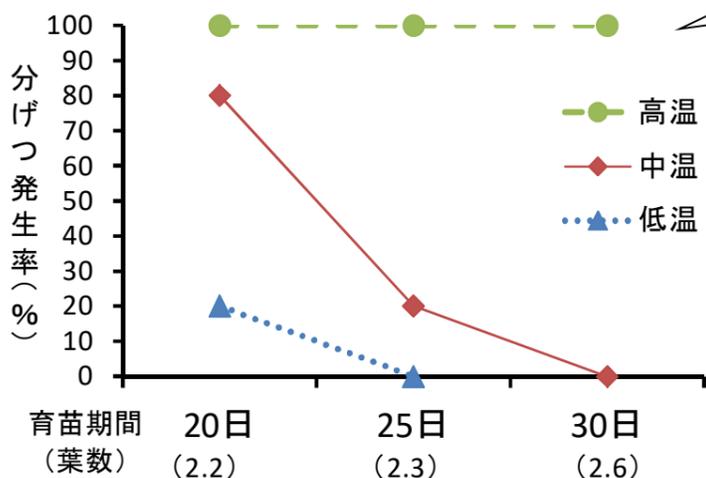


図2 種苗の育苗期間が初期分けつの発生に及ぼす影響

(人工気象室試験)

温度条件 高温：22°C（昼26―夜18°C）
中温：18°C（昼22―夜14°C）
低温：14°C（昼18―夜10°C）

(コシヒカリ、移植16日後調査、H25、26年の平均値、作研セ)

(出所：新潟県水稲栽培指針より)

2 畦畔の整備、ていねいな耕起・代かき

特に、水持ちの悪い圃場や水不足が心配される地域、ポンプでの用水地域では、重要な作業です。

- (1) ていねいな畦塗や畔シート等の活用により、畦畔からの漏水を少なくしましょう。
- (2) 耕起や代かきでの回数を多くするなどし、水持ちをよくする。
特に、下畔側の代かきをていねいに行うなど、漏水防止の工夫を行いましょ。
- (3) 漏水が土質的な場合は、客土やベントナイト施用などによる漏水防止対策を検討しましょう。
- (4) 用水不足が心配される地域では、用水を有効利用するために地域で話し合いを行っておきましょう。



代かきは田植えの2～3日前に、ていねいに実施し漏水を防ぎましょう。また、田面を平らにすることによって除草剤の効果を安定させることができます。

3 田植え前の初期除草剤は、田植えの7日前までに散布

田植え前に除草剤を散布する場合、初期除草剤は、田植えの7日前までに散布しましょう。除草剤は最新情報を入手し、使用量、使用時期、使用方法を確認し、適正に使用しましょう。

4 適期田植えの実施

コシヒカリは5月15日～5月20日から田植えをしましょう。

- (1) 田植えは晴天日など温暖な日に行い、早期の活着を促進しましょう。
- (2) 事故等に注意し、計画的に作業を進めましょう。
- (3) 代かき水が無くなる心配があるほ場では、早めの代かき・田植えを行うなど、水利状況を加味した最良な方法を工夫しましょう。



5 田植えからの水管理は「早朝入水、日中止め水」が基本

良質米の安定生産のためには初期生育を促進し、良質茎を早期に確保することが重要です。初期生育促進には田植え後の水管理が大きく影響します。

- (1) 田植え後は水温が高いほど発根、活着が早いので漏水を防止し、水温の上昇に努めましょう。湛水深は3～4cmを基本とし、低温や強風の場合は4～5cm程度のやや深水にして、保温的な水管理により植え傷みを回避しましょう。
- (2) 活着後は2～3cmのやや浅水とし、分けつの早期発生を促しましょう。
- (3) 水を更新する場合は早朝に灌水し、日中は止水として水温の上昇を図りましょう。

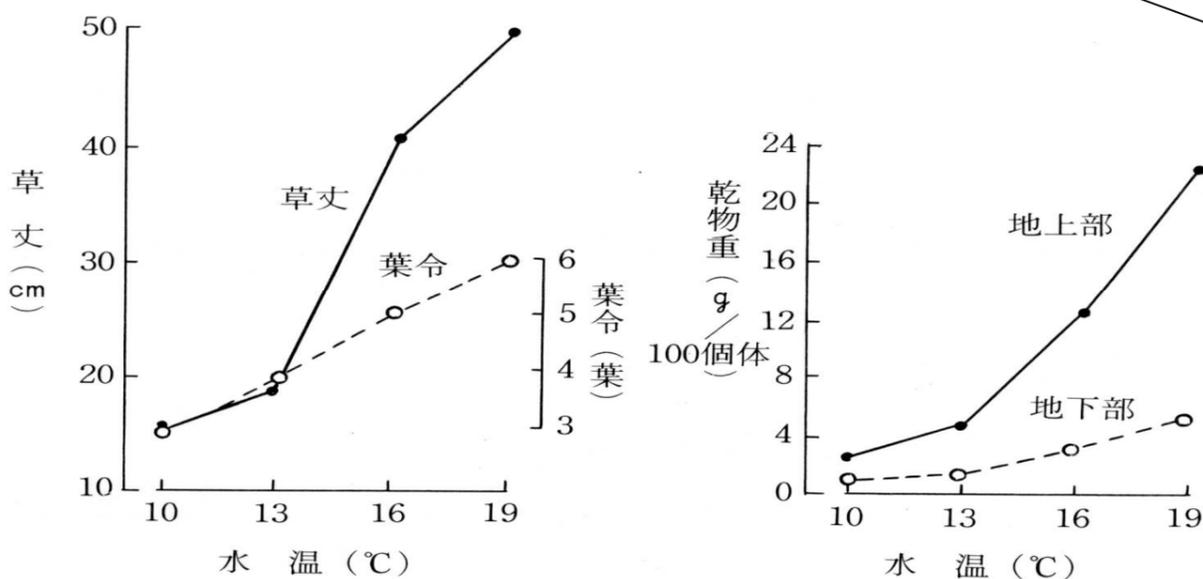


図3 移植時の水温と生育 (S51年、新潟農試、越路早生)
(人工気象室、移植20日後調査)

(出所：新潟県水稲栽培指針より)

～農作業事故に気をつけましょう～
不明な点、ご相談等ございましたらお気軽にお声掛け下さい。

JA 魚沼北魚沼基幹営農センター ☎ 025-793-1770